

システム監査学会2011年度第25回研究大会

システム監査用語 研究プロジェクト中間報告

2011年6月10日

城西国際大学

本田実

目次

1. 研究プロジェクトメンバー
2. 活動状況
3. 研究プロジェクトの目的
4. 用語の対象範囲
5. 参考資料
6. 研究プロジェクトの論点
7. 基本方針
8. 現在の用語定義について
9. 新しい用語の候補
10. 今後の課題

1. 研究プロジェクトメンバ

氏名	所属	備考
大島 誠	みずほ情報総研株式会社	
片谷 緑	三井情報株式会社	
城村 翔太郎	株式会社アスカ	
隈元 慶幸	堀総合法律事務所	オブザーバ、弁護士
新開 智之	監査法人コスモス	オブザーバ、公認会計士
高木 実	エス・アイ・エス株式会社	代表取締役
高木 克浩	エス・アイ・エス株式会社	
中田 猛	古河インフォメーションテクノロジー株式会社	
中村 晴夫	株式会社あいおい保険システムズ	
細野 浩一郎	日本銀行	
本田 実	城西国際大学	研究プロジェクト主査
芳仲 宏	システム監査学会理事	

2. 活動状況

- 平成22年7月2日より10回開催
月曜日または金曜日が多い
- 場所は城西国際大学紀尾井町キャンパス
- 出席メンバは平均5名から8名程度
- 各自分担した用語の定義、解説の作成及び発表(1人当たり10用語～20用語)
- 用語集の構成、まとめ方について議論
- 区切りごとに懇親会

3. 研究プロジェクトの目的

- 現状の「システム監査用語の定義と解説」の見直し
- 監査関連標準化、法制度の用語の定義の整理
- システム監査技術者試験の受験用用語集



- ・システム監査学会のHPのアクセス回数を増やす。
- ・システム監査技術者育成に寄与する。

4. 用語の対象範囲

- システム監査用語の定義と解説
- システム監査制度
- 情報セキュリティ監査制度
- システム監査技術者試験(レベル4)シラバス
- 共通フレーム2007
- JIS情報処理関連
- ISO/IEC情報処理関連
- 情報関連法制度

5. 参考資料(1)

- システム監査用語の定義と解説(平成17年6月)
- システム監査基準(平成16年10月)
- システム管理基準(平成16年10月)
- システム管理基準追補版(平成19年3月)
- 情報セキュリティ監査基準(平成15年4月)
- 情報セキュリティ管理基準(平成20年11月)
- システム監査技術者試験(レベル4)シラバス(平成21年3月)
- 共通フレーム2007第2版(平成21年10月)

5. 参考資料(2)

- JIS X 0001:1994 情報処理用語 基本用語
- JIS X 0008:2001 情報処理用語－セキュリティ
- JIS X 0014:1999 情報処理用語－信頼性、保守性及び可用性
- JIS X 0020:1992 情報処理用語(システム開発)
- JIS X 0160:1996 ソフトウェアライフサイクルプロセス
- JIS X 0170:2004 システムライフサイクルプロセス
- JIS Q 2001:2001 リスクマネジメントシステム構築のための指針
- JIS Q 15001:2006 個人情報保護マネジメントシステム－要求事項

5. 参考資料(3)

- JIS Q 10002:2005 品質マネジメント－顧客満足－組織における苦情対応のための指針
- JIS Q 10006:2004 品質マネジメントシステム－プロジェクトにおける品質マネジメントの指針
- JIS Q 13335-1:2006 情報技術－セキュリティ技術
- JIS Q 20000-1:2007 情報技術－サービスマネジメント
－第1部:仕様
- JIS Q 27001:2006 情報技術－セキュリティ技術
－情報セキュリティマネジメントシステム－要求事項

5. 参考資料(4)

- ISO/IEC38500 企業のITガバナンス
- コーポレート・ガバナンスと内部統制(経済産業省企業行動課編)(平成19年1月)
- 監査基準(平成21年4月改訂)
- 内部監査基準(平成16年6月改訂)
- 内部監査基準実践要綱(平成18年6月改訂)
- 財務報告に係る内部統制の評価及び監査の基準のありかたについて(平成17年12月)
- 金融商品取引法(平成21年7月改正)
- 会社法(平成21年7月改正)

5. 参考資料(5)

- 企業統治研究会報告書(企業統治研究会)(平成21年6月)
- 情報セキュリティ監査手続ガイドライン(経済産業省)(平成21年7月)
- JIS X 0129-1:2003 ソフトウェア製品の品質—第1部:品質モデル

6. 研究プロジェクトの論点(1)

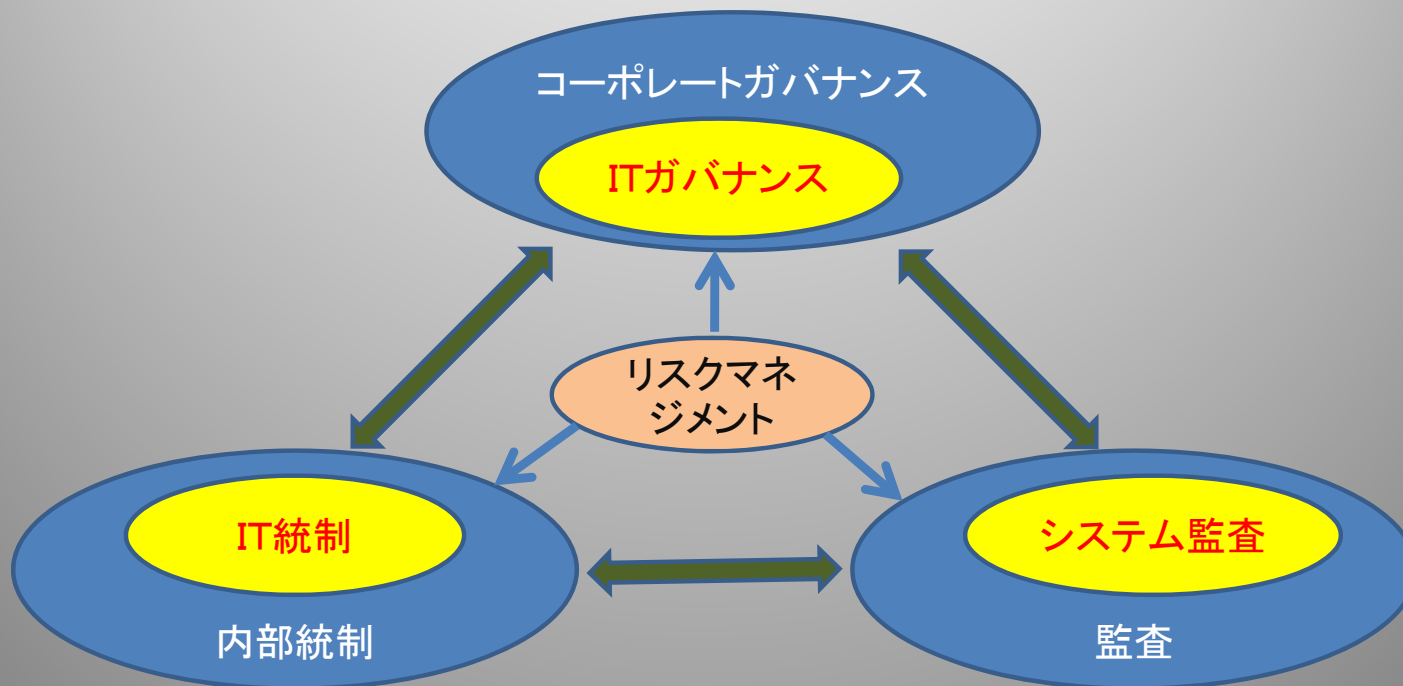
- コーポレートガバナンス、内部統制、監査の関係
- ITガバナンス、IT統制、システム監査の関係
- ITガバナンス、IT統制、システム監査とリスクマネジメントの関係
- システム監査と情報セキュリティ監査の関係
- 業務監査、会計監査とシステム監査の関係

6. 研究プロジェクトの論点(2)

コーポレートガバナンス、内部統制、監査の関係

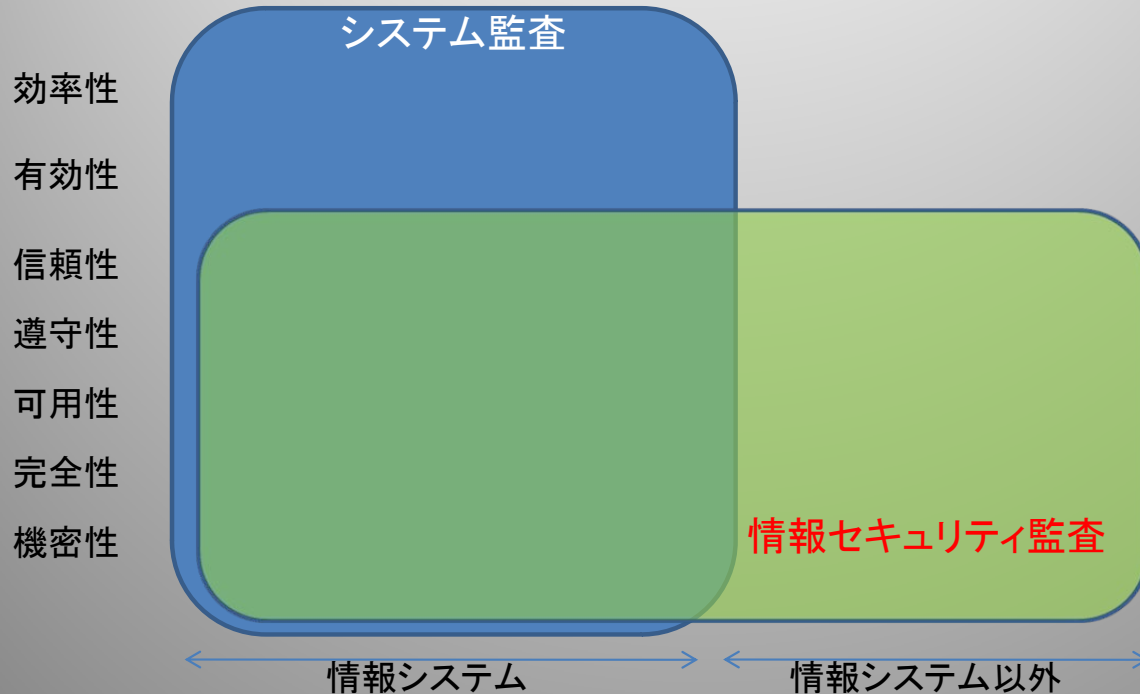
ITガバナンス、IT統制、システム監査の関係

ITガバナンス、IT統制、システム監査とリスクマネジメントの関係



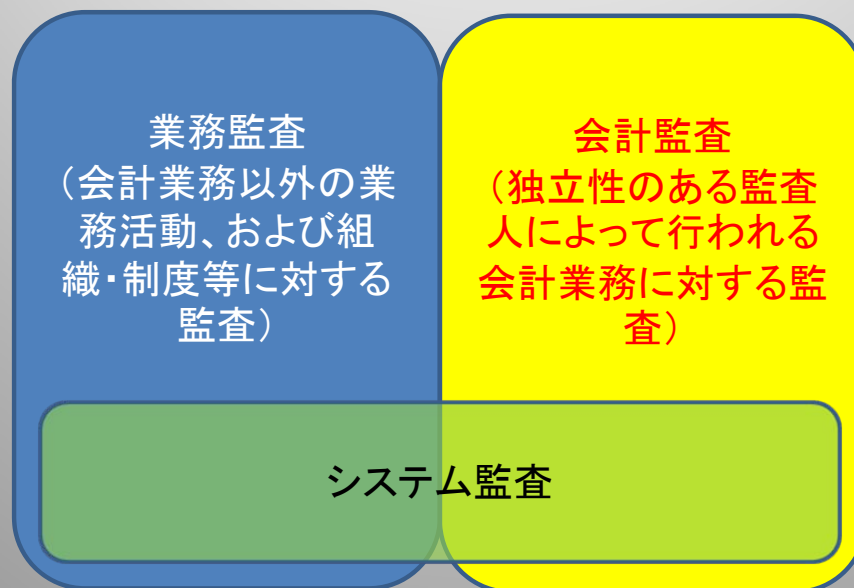
6. 研究プロジェクトの論点(3)

システム監査と情報セキュリティ監査の関係



6. 研究プロジェクトの論点(4)

業務監査、会計監査とシステム監査の関係



7. 基本方針(1)

- 現行の「システム監査用語の定義と解説」は、基本的に参照文献等が古くなったもの、用語そのものの解釈が新しくなったもの等を見直す。
- 解説は簡潔明瞭に記述する。
1用語あたり800字～1600字程度(A4半ページ～1ページ)とする。
- 用語の出現順位を「あいうえお」順とし、索引を追加する。
- 用語の定義の優先順位は、システム監査基準・管理基準、JIS、システム監査技術者試験シラバス、共通フレーム2007、法制度とする。
- なお、必要があれば、定義もしくは解説部分に併記する。

7. 基本方針(2)

- 用語相互に包含関係のある場合、用語として独立に定義せずに重要度の高い用語の中で説明するに留めるものもある。
- JISでは、用語の定義には複数ある場合があるが、よりシステム監査に近いものを採用する。
- 解説に参照しているURL、文献などの内容を記述する場合は、要約程度とし、参照のURLや文献名を記載するにとどめる。

8. 用語定義の改訂について(1)

- 当初、37用語が見直し、もしくは確認が必要と考えていたが、62用語が見直しとなった。
- 4用語を削除した。
 - 「電子政府と電子自治体」 用語とは言いにくい。
 - 「ビジネスモデル特許」 最近あまり使用されていない。
 - 「情報セキュリティスタンダード」 最近あまり使用されていない。
 - 「情報セキュリティプロシジャー」 最近あまり使用されていない。

8. 用語定義の改訂について(2)

- 以下の用語を変更した。
 - ①「助言と保証」を「助言」と「保証」に分割
 - ②「暗号」を「暗号化」に変更
 - ③「コンピュータ犯罪」の他に「サイバー犯罪」を追加

8. 用語定義の改訂について(3)

- 既存用語139語(そのうち4語は削除)のうち、変更なしは73語で、修正済みは49語、修正中は17語
- 新規追加用語は48語で、追加済みは44語、修正中は4語

9. 新しく追加した用語(1)

- 経営分野(18用語)

コーポレートガバナンス、ITガバナンス、IT統制、IT全社的統制、IT全般統制、内部監査、ビジネスリスク、リスクアプローチ、リスクアプローチ監査、ITIL、経営計画、経営戦略、経営目標、事業継続計画、情報システム計画、情報戦略、採算性、CSA

- システム監査分野(10用語)

システム監査計画、システム監査技法、一般基準、実施基準、外観上の独立性、精神上的の独立性、自組織の監査基準、情報セキュリティ監査基準、保証意見、報告基準

9. 新しい用語の候補(2)

- 監査分野(16用語)

意見表明、監査意見、監査時期、監査資源、監査実施、監査責任者、監査日程、監査の手順、監査判断の形成、監査方針、監査目標、コントロール、サブコントロール、アサーション、除外事項、品質管理

- 法制度分野(4用語)

個人情報保護関連法規、知的財産権関連、コンプライアンス、デジタルフォレンジックス

9' 作成上の留意点

「内部統制」等のマネジメントマターは、

①自由化・国際化等の進む中、「自己責任」重視へ

②度重なる「不祥事」(日本でも海外でも)の抑止

といったことが求められる環境の中で、法律面・制度面等高度化。

商法 → 会社法(2006年)

証券取引法 → 金融品取引法(2007年)

COSOLレポート → 財務報告に係る内部統制の評価
及び監査の基準(2007年)

⇒この動きに合わせ、システム監査技術者に求められる用語・内容をアップデート。

IT統制

「用語」、短く端的に意味を伝える事がベスト
表意文字の漢字は便利ではあるが、癖がある

IT統制、IT全社統制、IT全般統制、IT業務処理統制、では・・・

- IT統制
ITで統制する？、ITを統制する？、ITが統制する？
- IT全社統制
ITで全社的に統制する？、ITを全社的に統制する？
- IT全般統制
ITで全般を統制する？、IT全般を統制する？
- IT業務処理統制
ITで業務処理を統制する？、IT業務処理を統制する？、

IT統制…今次整理では

- IT統制
ITを利用した情報システムに対する『内部統制』
(…ITを統制する)
- IT全社的統制
企業の統制が全体として有効に機能する環境を保証するためのITに関する方針と手続等、
情報システムを含む『内部統制』のこと
(…ITを全社的に統制する)
- IT全般統制
『業務処理統制』が有効に機能する環境を保証するための統制活動を意味しており、通常、
複数の業務処理に関係する方針と手続のうち、IT基盤を単位として構築する『内部統制』
のこと
(…IT全般を統制する)
- IT業務処理統制
業務を管理するシステムにおいて、承認された業務がすべて正確に処理、記録されることを
担保するために業務プロセスに組み込まれたITに係る内部統制のこと
(…ITで業務処理を統制する)

以上、経済産業省「システム管理基準 追補版」より…()内は私の解釈(強いて言えば)

10. 今後の課題

- 表現の推敲
- 「修正中」の完成
- 「用語定義」という表現の検討
例えば、「定義」を「意味」、「解説」を「説明」
- 用語間の関連の表現
- 用語集としての使いやすさの考慮
HP等での提供方法の検討
- 定期的なバージョンアップ対応
- 引用・参照等の了解
- 学会の中での承認

最後に

- 今年度は最後の仕上げの継続研究プロジェクトです。
- 興味ある方の参加申し込みをお待ちしています。